

# イオン 環境・社会報告書

Sustainability Report 2009

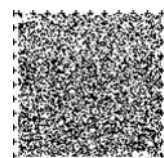
あなたと組むプロジェクトです。



イオンは2012年までに「30%のCO<sub>2</sub>削減」に取り組みます。  
このプロジェクトは、私たちイオンとお客さまと一緒に進めていく活動です。  
さあ、このままではいけない地球の未来へ、ごいっしょに。  
どうぞ、皆さまご理解をいただき、イオンの取り組みにご参加ください。



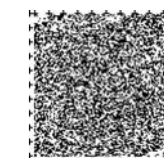
VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの地球にやさしいインキを使用しました。



お問い合わせ先 本報告書の内容やイオンの環境保全・社会貢献活動について、ご質問やご意見がございましたら下記にご連絡ください。  
イオン株式会社 グループ環境・社会貢献部 〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1 Tel:043-212-6037 Fax:043-212-6790  
イオンホームページ <http://www.aeon.info/>

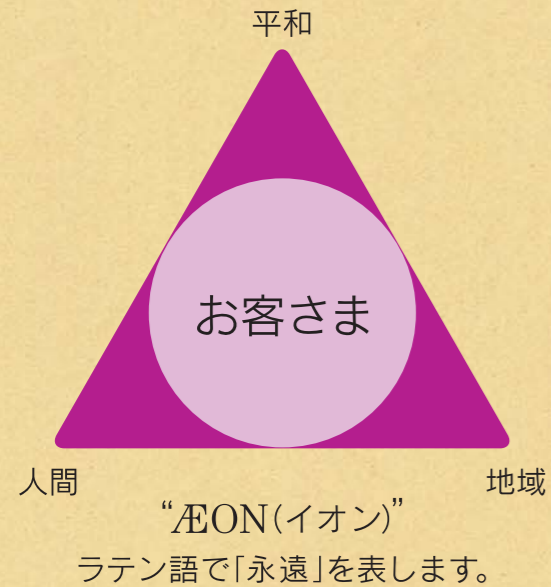
2009年5月7日発行

イオン 環境・社会報告書は、全ページに文書データを記録した「SPコード」を印刷しています。「SPコード」専用の読み上げ装置「スピーチオ」をご用意いただければ、音声で文書を読み上げますから、目の不自由な方も本レポートの概要を知ることができます。「スピーチオ」は視覚障がい者のための給付対象品に指定されています。





## イオンの基本理念



私たちの理念の中心は「お客さま」  
イオンは、お客さまへの貢献を永遠の使命とし、  
最もお客さま志向に徹する企業集団です。

「平和」イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。  
「人間」イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。  
「地域」イオンは、地域の暮らしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。

### イオン宣言

イオンは、  
日々のいのちと暮らしを、  
開かれたところと活力ある行動で、  
「夢のある未来」(ÆON)に変えていきます。

## これまでも、これからも、お客さまとともに。

### 編集方針

この報告書は、イオンが純粋持株会社体制となって初めて発行する環境・社会報告書(サステナビリティ・レポート)になります。副題を「これまでも、これからも、お客さまとともに。」とし、イオンが新たに取り組んだこと、ずっと続けてきたことを今回のレポートでご報告いたします。

今回のレポートでは、グループ各社が取り組んでいる活動を取り上げ、ひとつの企業だけで行っている先進的な取り組みについては、トピックとして掲載しています。

また、できるだけ分かりやすい構成とするため、要点を絞り、写真や説明図を大きく扱うことを心がけました。活動内容をより多くのステークホルダー(利害関係者)の方にご理解いただくことをめざしています。各取り組みの詳細な内容、データにつきましては、ホームページの関連サイトをご案内しています。

### イオンがめざしていること

社長コミットメント	3
イオン環境理念	4
イオン株式会社 環境方針	4

### 挑戦2008

#### [新たな取り組みや進化した活動]

進化するエコストア	5
省エネの取り組み	7
商品のCO <sub>2</sub> 排出量の「見える化」=	
カーボンフットプリントの取り組み	9
レジ袋無料配布中止店舗の拡大	11

### ずっと続けてきたこと

#### [夢のある未来に向けてグループ各社に広がっている活動]

イオンの植樹活動	13
イオン・デー	15
リサイクル	17
トップバリュ(安全・安心)(社会貢献)(環境)	19~21
食育活動	22
ユニバーサルデザイン	23
緊急時の対応	25
イオンピープル	27
できることから いっしょに	29
グループ環境最高責任者コミットメント	30
イオン温暖化防止宣言 ~2008年度の進捗報告~	30

レポート対象範囲 イオンの理念を共有する企業182社(2009年2月28日現在)

レポート対象読者 お客さまとお客さま株主、学生、グループすべての店舗の近隣住民の方々、取引先、NPO、NGO、行政、投資家の皆さま、イオンピープル(イオンの従業員)を対象としています。

レポート対象期間 2008年度(2008年2月21日~2009年2月28日)

※レポート対象範囲において決算時期が異なるなどの理由により、一部対象期間が異なるデータには対象期間を明記しています。

HP グループ主要企業一覧

<http://www.aeon.info/> → 環境・社会貢献活動 → イオン 環境・社会報告書 → グループ主要企業一覧





## これまでも、これからも 「お客さまとともに」



イオンとはラテン語で「永遠」を表します。私たちはこれまで、企業は地球上の市民社会の一員であるという認識を持ち、企業市民としてお客さまとともに社会が抱える課題解決に主体的に取り組んでまいりました。

21世紀に入りすでに9年経過した現在、地球規模で解決しなければならないテーマの一つは「低炭素社会の構築」であることは間違いありません。

これからのビジネスは、その命題を抱えながら企業として持続的成長する新しいビジネスプロセスやビジネスモデルを早く創り上げることが求められています。

そのような視点から、イオンは昨年3月に環境負荷の低減と企業の成長の両立をめざし、CO<sub>2</sub>の総排出量を2012年度に2006年度対比で30%削減するという「イオン温暖化防止宣言」を発表しました。これは従業員一人ひとりが意識を改め、行動を進化させないと達成できない高い目標であり、「店舗」「商品・物流」「お客さまとともに」という3つの切り口で、グループ従業員が一丸となって取り組みを開始しております。

1991年に開始した買物袋持参運動は、2009年度にはレジ袋無料配布中止店舗が500店超、買物袋持参率が50%となり、CO<sub>2</sub>の削減相当量だけで9万3000tを超える見込みです。同じく1991年に始めた植樹活動は、累計で約900万本に達することになります。また、自然にやさしいエネルギーである太陽光発電を導入した店舗は120店舗以上になる予定です。加えて、2001年に開始した「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」では、店舗周辺の地域で活動される環境関連などのボランティア団体様に、お客さまが投函したレシート金額の1%を寄付させていただいており、その額は2008年度までの累計で8億円を超えております。

これらの活動の根源にあるのは地域社会との連携、すなわち「お客さまとともに行動する」というイオンの不変の哲学です。私どもはこの哲学を大切にするとともに、2009年度はこれまでと全く異なる考え方を必要とする幕開けの年であると考えています。

イオンの新しい成長に対し、皆さまのご理解とご支援をいただければ幸いです。

イオン株式会社  
取締役兼代表執行役社長

岡田元也

## イオン環境理念

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というグループ理念のもと、企業市民としての社会的責任を果たすため、社会貢献活動と環境保全活動を積極的に推進していきます。

同時に私たちは、これらの活動が地域に根ざしたものであると認識し、地域の方々とのパートナーシップを育み、循環型社会の構築を目指します。

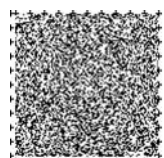
## イオン株式会社 環境方針

私たちは、顧客満足業として、お客さまに安全・安心な店舗・商品・サービスの提供を通じて、豊かなくらしと地球環境保全の両立を目指します。また、夢のある持続可能な社会の実現に貢献し、未来を担うこともたちの健やかな成長を育ててまいります。

これらの活動の推進にあたっては、環境マネジメントシステムを運用し、定期的に見直しを行い、継続的に改善を進めます。

1. 私たちは、事業活動の環境効率を向上させ、環境への負荷を低減させます。特に地球規模の課題である温暖化防止について、重点的に取り組みます。
  - 1) お客さまとともに行動します
    - ① リデュース・リユース・リサイクルを実践し、省資源活動を推進します
    - ② 植樹活動・育樹活動を推進します
  - 2) 環境に配慮した商品を提供します
    - ① 環境に配慮した商品をお客さまに提供し、お客さまにお勧めします。また、自ら環境負荷の少ない商品を積極的に開発します
    - ② 製造・配送・販売・使用・廃棄という商品のライフサイクル全体を見直し、変革します
  - 3) 環境負荷の少ない店舗運営を実践します
    - ① 省エネ・省資源に取り組み、エコストア(環境に配慮した店舗)を展開します
    - ② 廃棄物を削減し、適正に処理します
    - ③ 使用する資材や物品はより環境負荷の少ないものを選択するよう努めます
2. 私たちは、環境負荷の高い物質を適正に管理し、汚染の予防に取り組みます。また、生物多様性の保全に配慮します。
3. 私たちは、環境側面に関わる法規制及び受け入れを決めたその他の要求事項を順守します。
4. 私たちは、この方針に従業員及び当社の事業活動を支えるすべての人々に周知し、一人ひとりが自らの役割を自覚し、自発的に行動できるようにします。
5. 私たちは、この方針を広く公開します。そして多くの方々とのパートナーシップを築き、取り組みの輪を広げていきます。

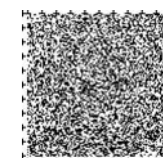
※純粋持株会社(イオン株式会社)の環境方針になります。



HP **イオン ISO取得企業一覧** <http://www.aeon.info/> → 環境・社会貢献活動 → イオン 環境・社会報告書 → イオン ISO取得企業一覧

HP **ISO14001の目標と実績** <http://www.aeon.info/> → 環境・社会貢献活動 → イオン 環境・社会報告書 → ISO14001の目標と実績

HP **環境会計実績報告** <http://www.aeon.info/> → 環境・社会貢献活動 → イオン 環境・社会報告書 → 環境会計実績報告





# 挑戦 2008

## 進化する エコストア

日本が得意とするエコな知恵が集まり、みんなでエコを楽しむ、学ぶ、行動するステージへ。

2008年10月、埼玉県越谷市にイオンのエコストア7号店「イオンレイクタウン」がオープンしました。環境に配慮した最新の技術や仕組みを数多く採り入れ、CO<sub>2</sub>の年間排出量20%削減(9,000t-CO<sub>2</sub>)を目標にしています。ハードだけでなくソフトにも力を入れていて、国内外のアーティストによるエコアート展示や地域のエコ情報発信などを行っています。エコを楽しむ、学ぶ、行動する場としての役割を担うお店へと進化しています。

### 省エネルギー



熱源システムに国内で初めて「ハイブリッドガスエコシステム」を導入。都市ガスを利用して電力の約40%を発電するとともに、発電時の排熱を冷房に利用して空調の約70%をまかなうシステム(MORI)。年間約6,500t-CO<sub>2</sub>の削減に貢献。

### 緑化



建物の一部の外壁に「壁面緑化(苔タイル)」を設置。通常の外壁タイルよりも断熱性に優れ、夏の遮熱効果と冬の断熱効果が高い。

## AEON LakeTown



CO<sub>2</sub>削減量(年間): 目標値 **9,000t-CO<sub>2</sub>**

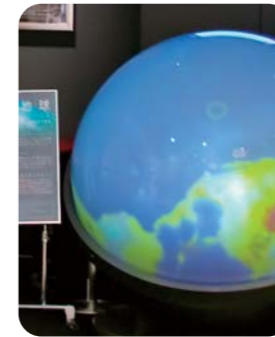
「シゼンに心地いい、ワタンに心地いい」をコンセプトにした国内最大級の「エコ・ショッピングセンター」。「森(MORI)」と「風(KAZE)」2つのショッピングセンターで構成。

### 急速充電ステーション



国内商業施設としては初めて、電気自動車専用の「急速充電ステーション」を設置。30分程度で満充電時の約80%の充電が可能。

### 触れる地球



お客さまにエコ情報を発信・体験していただくスペース「アクトグリーンルーム(MORI)」。地球環境を映し出す「触れる地球」を展示。

グループ各社がエコストア・エコショッピングモールをオープン。新たにリニューアルによる既存店のエコストア化を実現。

### 多気クリスタルタウンSC\*

5号店 マックスバリュ中部(株)  
三重県 〈マックスバリュ初〉

CO<sub>2</sub>削減量(年間): 目標値 **438t-CO<sub>2</sub>**

●CO<sub>2</sub>削減率(SC全体): 目標15%以上



### イオン苫小牧SC

6号店 イオン北海道(株)  
北海道 〈既存店初〉

CO<sub>2</sub>削減量(年間): 目標値 **3,015t-CO<sub>2</sub>**

●ソーラーパネル: 88.4kW  
●CO<sub>2</sub>削減率(SC全体): 目標20%以上



### イオン日吉津SC

8号店 イオンリテール(株)  
鳥取県 〈既存店増床〉

CO<sub>2</sub>削減量(年間): 目標値 **2,132t-CO<sub>2</sub>**

●ソーラーパネル: 100kW  
●CO<sub>2</sub>削減率(SC全体): 目標20%以上



### イオンモール草津

滋賀県 イオンモール(株)

CO<sub>2</sub>削減量(年間): 目標値 **3,027t-CO<sub>2</sub>**

●ソーラーパネル: 200kW  
●CO<sub>2</sub>削減率(SC全体): 目標10%以上

\*SC: ショッピングセンター



### ソーラーパネル

国内商業施設では最大級の合計面積で約4,000m<sup>2</sup>のソーラーパネル(487kW)。年間41万kWhの発電により、約155t-CO<sub>2</sub>の削減が可能。





# 挑戦 2008

## 省エネの 取り組み

イオンピープル（イオンの従業員）が協力して省エネを推進しています。

イオンでは省エネ設備の導入だけでなく、イオンピープルが積極的に店舗や事業所の省エネ活動に取り組んでいます。「無駄な照明を消す」「使っていないコンセントは抜く」そんな小さな努力の積み重ねで、確かな成果を上げています。イオンピープルが一丸となって取り組んだ「省エネ・チャレンジ」の一例をご紹介します。

### マックスバリュ東北(株) マックスバリュ矢島店の「省エネ・チャレンジ」

電力消費の目標値を超えると  
携帯電話のアラームが鳴るシステムを活用。



1 当初は、鳴りっぱなしで、特定のメンバーにばかり負担が…。



3 電力消費量の多い機械や熱量の多い機械を優先対応。こまめにスイッチを切り、設定温度を守り、新たな電源を探して…。



2 そこで、アラームが鳴ると店内アナウンスで全員に周知することに。



4 週2回反省会を開き、全員が成果を確認し、改善を繰り返しました。



全員参加で取り組みました。

**結果** 一丸となって取り組んだ結果、6カ月間で前年比  
電気使用量は約**10.6%**(99,837kWh)削減。  
CO<sub>2</sub>排出量は約**36**t-CO<sub>2</sub>削減できました。

### イオンリテール(株)の「省エネ・チャレンジ」

意識の向上のために

店舗毎に前年同月の電力使用量以下をめざして、コンテストを実施。グラフ化することで全員の意識向上を図っています。

電力使用量削減グラフ



毎日の電力使用量を記入し、みんなで確認。

設備の入れ替えで省エネ

ショーケースは、オーバーキャノピー照明へ。既存店の入れ替えが進んでいます。

オーバーキャノピー照明



棚毎に照らすタイプから、上からケース内全体を照らす省エネタイプへ。(ジャスコ水戸内原店)

イオンピープルの工夫で省エネ ~お客さまにご理解をいただきながら無駄な電気を徹底的に消しています~

こんな工夫も



ショーケースの照明をOFF。  
(マックスバリュ那須店)

テレビのエコ展示



売場の3分の1のテレビの電源をOFF。  
(ジャスコ津田沼店)

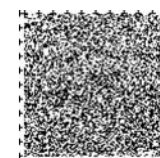
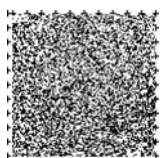
間引き照明



消しても問題のない照明はOFF。  
(キッズ共和国 横浜新吉田店)

### 結果

店舗単位で競い合っ取り組んだ結果、3カ月間で前年比  
電気使用量は約**8.2%**(55,297,998kWh)削減。  
CO<sub>2</sub>排出量は約**30,000**t-CO<sub>2</sub>削減できました。



MaxValu  
SUPERMARKET

JUSCO

AEON